

本当の 未来遺産へ



地域の夢

100年先へ

《会場》和歌山大学地域連携・生涯学習センター（松下会館）

和歌山市西高松一丁目7番20号 073(427)4623

《参加費》無料 《参加賞》当日抽選で里山からの贈り物が当たります

《定員》150名（先着順）

《お問合せ・お申込》海南市わんぱく公園内（有本・いしお）

《電話》073-484-5810 《FAX》073-484-5820 《e-m》biotop@mo-ko.jp

2012. 3/17(土) PM 1:00~

プロジェクト未来遺産

生物多様性フォーラム

里山と生きもの

伝えよう未来に
広めよう地域に

プロジェクト

未来遺産

■1部 基調講演・地域報告 「生物多様性の方向性・価値を考える」

鷲谷いづみ氏（東京大学大学院農学生命科学研究科教授 理学博士）

専門は生態学・保全生態学。現在は生物多様性と自然再生に係わる幅広いテーマの研究に取り組んでいる。主な著書に『自然再生 持続可能な生態系のために』、『生物保全の生態学』、『生態系を蘇らせる』、『につぼん自然再生紀行』などがある。

千坂げんぼう氏（法定協議会・久保川イーハートブ自然再生協議会会長）第1回プロジェクト未来遺産登録久保川流域の自然環境を後世に伝えるため、宗教法人知勝院は1999年から樹木葬墓地を中心に、自然環境整備を行っている。日本の里100選にも選定されている。*「久保川イーハートブ」とは、当該地域の望ましい里地里山の姿のこと。

笹木智恵子氏（NPO法人ウエットランド中池見理事長）第1回プロジェクト未来遺産登録中池見湿地は世界でも稀な10万年前の泥炭層から成り、60種のトンボや15種の絶滅危惧植物が生息している。「いきもの不思議の国」と言っても良い多様で豊かな湿地の環境を修復しながら未来へと伝える活動を行う。

《特別発表》和歌山県立向陽中学校理科部「孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクト」

平成22年4月より開始した「孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクト」の調査担当として稀少鳥類調査及び水田の生き物調査を行ってきました。年間12回に亘る調査活動を2年間継続し、孟子不動谷の豊かな森林性鳥類と森林の関係及び水田の生物と無農薬農法の関係について、彼ら独自の視点で観察してきました。

■2部 パネルディスカッション 「生物多様性の重要性を考える」

《パネラー》 鷲谷いづみ氏・須田真一氏・千坂げんぼう氏・笹木智恵子氏・原祐二氏・有本智

《主催》 特定非営利活動法人自然回復を試みる会ビオトープ孟子

《共催》 和歌山県 《後援》 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟